

イギリス語学研修を終えて

文学部英語英米文学科 2年 松野由紀

私は、昨年の8月中旬から4週間、英文の村里先生の知り合いの先生に引率して頂き、イギリスでの語学研修に参加しました。そこで見たこと、感じたことなどについてお話ししたいと思います。

～1週目～

イギリスでの初めの1週間はオックスフォードに滞在しました。そこから電車でロンドンに行き、観光名所を歩いて回ったり、貸切バスでブレナム宮殿に行ったりしました。イギリスは建物全てが芸術品のようで美しく、どれも歴史を感じさせるものばかりでした。バッキンガム宮殿を訪れた際には、幸運なことに一日一度の兵士交代の様子を見ることができました。ブレナム宮殿は建物、敷地がとても大きく圧倒されました。また、内部も装飾、デザイン、置物全てが統一され美しく、イギリスで訪れた中で、最も印象的だった場所の一つです。



写真左：バッキンガム宮殿(エリザベス女王のロンドン公邸)にて兵士交代の様子 中央：ブレナム宮殿(チャーチル元首相の生家)とその美しい庭園 右：オックスフォードの景観

～2-3週目～

2-3週間は世界遺産の町バースでホームステイしました。バースは緑が豊かで、通りのあちこちに花が飾られている大変美しい町でした。美しく、人も温かいこの町が私はすぐに大好きになりました。店員さんが笑顔で私たちに声をかけてくれたり、道に迷っている時に、通りがかりの人が優しく声をかけてくれたりしたこともありました。私と友人がお世話になった家庭には子供が2人、私たち以外の他にもメキシコからの学生2人がホームステイしており、とても賑やかで楽しく2週間過ごすことが出来ました。イギリスはご飯がおいしくないというイメージをお持ちの方もいるかもしれませんが、そのような事は決してなく、私たちのホストマザーの料理は本当に美味しく、私たちは毎日夕飯をととても楽しみにしていました。ホストファミリーはとても親切で、英語がうまく聞き取れない私たちの為にはっきりと分かりやすく話してくれたり、緊張気味



写真：ローマンバス(古代のお風呂で、バースという町の名前もここに由来しています)

の私たちが冗談で笑わせてくれたりしました。また、メキシコ人の学生との英語を用いての交流はとても刺激的なものでした。私たちと同年代の彼らの流暢な英語に驚き、刺激を受けると共に、英語が世界共通語ということを実感しました。バースに滞在している2週間の間、平日の昼間はバース大学の学生と、日本とイギリスの間の風習や考え方の違いなどについてディスカッションを行いました。このディスカッションを通し、何事もこうでなければいけない、ということは無いのだと改めて気づくことが出来、それらはとても面白い経験となりました。二週間お世話になったホストファミリーやバースの学生たちと別れ、たくさんの思い出が詰まったバースを出発するときには、とても辛く、離れ難かったです。



写真左：バースの美しい街並み 中央：ホストファミリー 右：ホストマザーのおいしいご飯(毎日の夕食には、必ずといっていいほどジャガイモが使われていました)

～4週目～

最後の1週間は湖水地方に滞在し、地元の小学校・中学校、高校を訪問しました。湖水地方はそれまでに訪れたロンドンやオックスフォード、またバースとも異なり、自然と調和した田舎を思わせる地域でした。私たちは、ボートで湖を渡り、山道を抜けたところにあるユースホステルに泊まりました。ここでは毎晩バーベキューで自炊をしなければならず、少し大変ではありましたが、毎日がキャンプのようで楽しかったです。



写真：湖水地方の広くて美しい湖

私たちが訪問した Dowdales School は日本でいう小・中学校の年代の子供たちが通う学校で、私たちは幅広い年代の子供たちと触れ合い、日本の文化を紹介する機会を得ました。子供たちは日本の文化に非常に興味を持っており、温かく私たちを迎え入れてくれました。特に子供たちが興味をもってくれたのが、アニメ、折り紙、日本のお金でした。日本について知っていることを尋ねてみると、必ず出た答えがマンガの名前でした。日本のアニメがこんなにも外国で有名だと知り、着物や折り紙などに加えてマンガも現代における日本の文化と良いものだと感じました。お金は、穴が空いたものが珍しいようで、五円玉・五十円玉は大人気でした。なぜ穴が空いているのか尋ねられた時は、少し戸惑いました。そして日本の校則のようなものがほとんどないイギリスの学校での、生徒達の伸び伸びと自ら学び、そして授業の最後にはどどん手を挙げて発表するという積極的な態度は、日本の授業の様子とは大分異なり、とても驚きました。高校を訪れた際には、イギリスと日本の文化の異なる点を

見つけ、それについてディスカッションしました。高校でも仲良くなるのに折り紙が大変役立ちました。今回の私たちのように、外国の学生が学校を訪問することは珍しい出来事らしく、私たちの学校訪問は地元の新聞にも紹介されました。両学校共、生徒たちが自ら学ぶ姿勢をもっているところが大変印象に残っています。外国で子供たちに日本の文化を紹介することは貴重な経験でしたし、私たち自身楽しむことが出来、とても良い思い出になりました。



写真: Dowdales School にて子供たちと会話を楽しむ様子

～感想～

今回の四週間のイギリス滞在は、本当に良い経験になりました。日本を外側から見つめ直すことにも繋がりましたし、外国の人々がとても日本を含め、海外に強い関心をもっていることも分かりました。その点では、日本人はイギリス人に比べ、外国に関する興味が薄いように感じました。また、イギリスの人たちはみんな優しく親切で、とても友好的でした。例えば、ホテルや通りで目が合った時に、私たちに微笑んでくれたり、声をかけて挨拶をしてくれたり、小さなことでも 'thank you' と一声かけ合うところは、日本人も見習うべき点だと思いました。イギリスにきて、本当にたくさんの優しい人々に会うことができました。見知らぬ土地で何度も困ったこともありましたが、その度に色々な人が助けてくれました。今回の研修を通して、たくさんの素晴らしい出逢いや、思いがけない発見をすることが出来ました。今後もまた機会があれば、色々な国を訪れて様々な経験が出来れば良いと思います。



写真左上：セントポール大聖堂 中央上：オーストラリア大使館（ハリーポッターロケ地）右上：ロンドン 左下：ストラトフォード・アポン・エイボン（シェイクスピア生誕の地）中央下：レイコック（昔ながらの景観を今も守り続けている町）右下：ジェラシックコースト（世界遺産）